

防災対策
の今後…

区が新たに深井戸整備（日暮里公園） 危険度の高い地域での優先整備を

上は、荒川公園の深井戸用の
設備工事現場

6月8日、改選後初めての震災対策調査特別委員会で、区が進める「永久水利施設」について、荒川公園（区役所前）の深井戸施設整備と新たに日暮里公園への設置などが報告されました。

荒川公園については、既に井戸の掘削が終了、今後水泵や発電施設などを7月15日までの工期で整備します（施設概要左下表）。これに続いて東日暮里にある日暮里公園で着手します。いずれも1億円近い費用がかかります。

井戸の掘削が終了、今後水泵や発電施設などを7月15日までの工期で整備します（施設概要左下表）。

深井戸4丁目などでの深井戸設置を求めました

深井戸は、基本的に枯れることが多い水利であり、生活用水だけでなく飲料水での活用も期待されています。しかし、整備には課題もあります。

深井戸は、基本的に枯れることが多い水利であり、生活用水だけでなく飲料水での活用も期待されています。しかし、整備には課題もあります。

| 荒川公園内深井戸 | |
|----------|-----------------|
| 深さ | 200m |
| 取水量 | 毎分2トン |
| 水中ポンプ | 1基設置(18.5kw) |
| 自家発電機 | 1機設置(37KVA) |
| 軽油タンク | 72時間分 350リットル |
| 充水地 | 荒川公園内 既存防火水槽 |

河川水を使った「永久水利」もありますが、人手や多くの装備が必要で即応性には難があります。飲料水には使えません。区の積極的な対応を求めていきたいと思います。

委員会では、都内でも最も危険度の高い町屋4丁目をはじめとした地域への設置を求めました。騒音・振動を軽減できる工法の採用や一定期間公有地を使った整備も可能です。

6月22日(月)10~本会議
24日(水)10~本会議
25日(木)10~総務企画、福祉区民
26日(金)10~文教子育、建設環境
7月2日(木)10~本会議
共産党の代表質問は、6月22日(月)
13時からの予定です。

6月会議の議会日程

横山幸次

区政報告
ニュース

577

2015年6月14日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
メール arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
メール yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

裏面 新年度の介護保険制度、オレオレ詐欺など

定例法律相談会

7月6日(月)
午後6時~8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。

生活相談は、隨時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



東京も梅雨に入り、雨に濡れた紫陽花の花が町のあちらこち
らで目に入ります。ひょつとすると桜と並んで大都市で一番季節を感じさせる光景かも知れませんね。同時にこの季節は、十分気をつけねばなりません。熱中症も梅雨の時期から7、8月にかけて多く発生しています。



まちの話あれこれ
入梅と紫陽花の花が季節を伝えていきます。
一方で「熱中症」対策をお忘れなく：
振動と騒音（2～3ヶ月）
20m・30m四方の土地が必要
井戸の掘削工事で発生する
振動と騒音（2～3ヶ月）
20m・30m四方の土地が必要
な点などです。
危険度の高い町屋4丁目をはじめとした地域への設置を求めました。騒音・振動を軽減できる工法の採用や一定期間公有地を使った整備も可能です。
毎度のことですが、水分補給、エアコンや扇風機での温度調節などに気をつけることも大事です。また図書館など「あらかわ街なか避暑地」になっています。
気分転換で出かけてみるのも良いでしょう。

横山幸次

新年度の 介護保険は

介護保険の負担増やサービス削減… 介護の安心を確保する区の役割は？

| 地域包括支援センターの相談件数と内容別件数 | | | | | | | | |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 2014年度 | 合計 | 南千住 | 荒川 | 町屋 | 東尾久 | 西尾久 | 東日暮里 | 西日暮里 |
| 相談合計 | 90,782 | 16,106 | 16,910 | 14,623 | 7,279 | 10,469 | 14,747 | 10,648 |
| 総合相談 | 40,811 | 6,027 | 10,092 | 5,808 | 2,776 | 3,700 | 7,044 | 5,364 |
| 権利擁護 | 4,279 | 1,651 | 602 | 851 | 285 | 200 | 492 | 198 |
| ケアマネ支援 | 4,229 | 1,183 | 500 | 402 | 581 | 413 | 1,009 | 141 |
| 予防給付 | 30,339 | 4,751 | 4,420 | 4,663 | 2,850 | 4,639 | 5,230 | 3,786 |
| 二次予防事業 | 11,124 | 2,494 | 1,296 | 2,899 | 787 | 1,517 | 972 | 1,159 |
| 2012年度 | 合計 | 南千住 | 荒川 | 町屋 | 東尾久 | 西尾久 | 東日暮里 | 西日暮里 |
| 相談合計 | 77,069 | 17,512 | 14,122 | 22,370 | 9,717 | | 13,544 | |

「地域包括支援センター」の役割がいつそう重要な高齢者の介護・福祉の拠点に相応しい体制強化を！

この4月から介護保険が

大きく変わりました。

要支援の訪問介護・デイ

サービスの保険外し「総合

事業」へ、特養ホームの入

所制限（要介護3以上）、

8月から一定所得以上に利

用料2割負担導入へ「所得

160万円」年金収入28

万円以上）や介護施設利

用の食費・居住費の負担

軽減の縮小や打ち切りなど

高齢者と家族の暮らしを脅

かすものばかりです。

必要な介護サービスが本

当に保障されているのか、

経済的理由でのサービス抑

制がないのかなど、区とし

てきちんと生活実態つかん

だ対応や独自支援策が求め

られます。

同時に、区の介護と高齢

者福祉の相談や実際の制度

実施に結びつける仕事は、

各地域にある地域包括支援

センター（社会福祉法人な

どが受託）です。

以前から共産党区議団は、

この体制強化を求め、結果

2015年度 地域包括支援センターの職員体制

| | 高齢者人口 | 主任ケアマネ | ケアマネ | 保健師看護師 | 社会福祉士 | 専門職合計 |
|------|--------|--------|------|--------|-------|-------|
| 南千住 | 9,211 | 2 | 0 | 1 | 1(2) | 4(2) |
| 荒川 | 7,793 | 1 | 0 | 1 | 3 | 6 |
| 町屋 | 7,177 | 1 | 2(1) | 1(1) | 1 | 5(2) |
| 東尾久 | 6,392 | 1 | 2 | 1 | 2 | 6 |
| 西尾久 | 6,631 | 1 | 2 | 1(1) | 1 | 5(1) |
| 東日暮里 | 5,768 | 1 | 0 | 1 | 3 | 5 |
| 西日暮里 | 4,447 | 1 | 1 | 1 | 1(1) | 4(1) |
| 合計 | 47,419 | 8 | 7(2) | 7(2) | 12(3) | 31(6) |

()内は非常勤職員数 今年1月時点では合計で35(7)の体制

いずれの表も2015年6月10日時点

区内のオレオレ詐欺被害8800万円 対策で自動通話録音機を無償提供

荒川区内のオレオレ詐欺被害者は、去年1年間で33件8,863万円。今年に入っても8件1388万円に上っている。電話がかかってきたら、家族にすぐ電話をして下さい…。

また、警察相談専用電話 #9110（全国共通）または最寄りの警察署まで

【自動通話録音機無償貸与について】

荒川区では、対策の一環として、自動通話記録器の無償貸与事業をはじめます。

対象 65才以上の方が居住する世帯

貸与予定台数 2,100台（予算1台5,500円）

申込期間 7月1日～8月31日

貸与開始 9月から電気事業者が戸別

訪問して取り付けます。

希望者は区民事務所・ふれあい館ひろば館等に設置する申込書を郵送または防災センター（生活安全課）に持参して申請してください。また各区民事務所でも申請書は受理します。

問合せ：生活安全課 3802 3111内線494

| 区内のオレオレ詐欺の発生状況 | | |
|----------------|-----------|-------------------|
| | 件数(対前年) | 被害総額(対前年) |
| 2014年 | 33件(+18件) | 8,863万円(+5,113万円) |
| 2015年1月～3月 | 6件(-8件) | 888万円(-2,075万円) |

2015年度荒川区の省エネ、節電対策について 電力消費量は減少…これでも原発再稼働？

区議会に今夏の省エネ、節電対策の報告がありました。

「街なか避暑地」利用（区内53カ所の区施設）、ライトダウン、省エネマイレージなど実施するようですが、ここで注目したのは、区内の夏の電力使用量です。2010年度を起点に昨年度は76.4%まで下がっています。景気悪化の影響も考えられますが、主に国民や企業の省エネ、節電効果でしょう。原発ゼロ状態が続いているが、電力は充足しています。今後さらにライフスタイルの見直しやいっそうの節電が進むはずです。原発ゼロが、いまや現実的だということが日々示されています

荒川区の販売電力推計値(東電開示)

| 年度 | 7月～9月(千KWh) | 2010年度比 |
|--------|-------------|---------|
| 2010年度 | 275,823 | - |
| 2011年度 | 227,145 | 82.4% |
| 2012年度 | 227,499 | 82.3% |
| 2013年度 | 226,811 | 82.2% |
| 2014年度 | 210,728 | 76.4% |